

計画事業番号	00303	事務事業名	学校図書館活用事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	--------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	学校図書館図書標準(文部科学省)学校図書館法第3条、第6条及び子供の読書活動の推進に関する法律第4条				
事務事業開始年度	平成18年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 1 節)	「生きる力」を育む学校教育の推進
	(施策 2)	豊かな心を育む教育の充実
2 対 象	学校図書館、児童・生徒、教員	
3 目的と内容	「学校図書センター」を中心とし、ネットワークを活用した蔵書の有効活用を図るとともに、学校司書3名を各小中学校に巡回配置し、選書や図書館の整理、図書委員会等と連携した学校図書館の活性化等を図る。 平成30年度からは、大曲地区に地域まるごと読書支援モデル事業(まちなか司書)を配置し、大曲地区の小中学校の図書館巡回、保育施設の読書活動推進を行っていく。	
4 実施内容 (手 段)	2017年度まで	「学校図書センター」が中心となり、各小中学校の学校図書館の資料購入をはじめ、資料の協力貸出や学校司書配置によるネットワークを活用した蔵書の有効活用、各学校と連携した学校図書館の活性化を図っている。
	2018年度	昨年度と同様に、学校図書館の状況に合わせた活性化を図っていく。 (1)学校図書の購入 (2)図書センター資料の購入 (3)学校図書館ネットワークシステムの借上げ (4)学校司書の配置 (5)まちなか司書の配置

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書の購入 4,877冊 図書センター資料の購入 1,695冊 学校図書館ネットワークシステムの借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置 まちなか司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置 まちなか司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置 まちなか司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置 まちなか司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置 まちなか司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置 まちなか司書の配置

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	学校と図書館の連携をさらに深める。まちなか司書配置の成果を見ながら、読書活動を推進していくことが必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		17,132	19,018	19,724	19,724		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	17,132	19,018	19,724	19,724	
	① 合計	17,132	19,018	19,724	19,724		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	12,600	0	12,600	0	12,600	0
総事業費①+④		29,732	31,618	32,324	32,324		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
活動指標	①小学校学校図書館蔵書冊数	目標値	冊	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績値	冊	86,342			
	②中学校学校図書館蔵書冊数	目標値	冊	54,000	54,000	54,000	54,000
		実績値	冊	68,694			
	③小学校学校図書館年間貸出冊数	目標値	冊	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績値	冊	84,694			
	④中学校学校図書館年間貸出冊数	目標値	冊	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績値	冊	18,002			
成果指標	①小学生1人あたり年間貸出冊数	目標値	冊	30	30	30	30
		実績値	冊	28.3			
	②中学生1人あたり年間貸出冊数	目標値	冊	10	10	10	10
		実績値	冊	10.3			
	③	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・学校図書館法や国の学校図書館整備5か年計画等に基づき、学校図書館の整備を進めていくことが必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・今後は図書の更新などを定期的に行い、学校図書館の利用の活性化につなげていく。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	・中学校における学校司書巡回配置により、貸出・来館など維持している。まちなか司書配置の効果を検証し、今後の体制について検討していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	・学校図書センターの機能を活用し、学校図書館と図書館の連携を密にした効果的な運営を継続していく。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--